



市川中HP

学校評議員会より

▼本校では、学校・家庭・地域が連携協力しながら一体となって子供達の健やかな成長を担っていくために学校評議員会を設置しています。委員には町の民生員さんや歴代 PTA 会長さんが、校長の推薦により、町から委嘱され、学校運営に関するご意見を寄せていただいています。▼1回目は6月14日に開催し、学校グラウンドデザインを基に、本校の学校経営についてご理解いただきました。そして、第2回学校評議員会が2月26日(月)に開催され、学校評価の結果を基に、学校経営のご意見をいただきました。▼委員さんからは、

- ・子供たちが授業中落ち着いて先生の話の話を聞いている。また、タブレットPCを道具として使いこなしていて驚いた。
- ・校内の清掃が行き届いていて、きれいな環境である。
- ・2年生のほうとうづくりに参加したが、子供たちが積極的に話しかけてくれ、事後にいただいた手紙にも感動した。
- ・子供たちが、登下校時にさわやかなあいさつをしてくれる。
- ・国際交流事業がコロナ禍のために中断しているが、素晴らしい事業なので、復活して欲しい。

などの声が寄せられました。▼ちなみに、今年度の**学校評価の結果及び考察**については、2月22日付けで、紙面にて、各ご家庭に配布してあります。また、学校ホームページにも、アップしてありますのでご覧ください。▼考察では、本校の4つの指導重点ごとに総括し、成果と課題を明らかにするとともに、課題については改善に向けての具体的な手立てを示してあります。▼同時に、本校では、学びの質を高めるとともに、生徒と教職員のウェルビーイングの向上を図るという視点で、行事や会議の持ち方を軸に検討し、来年度のカリキュラムプラン(教育課程)を編成しました。▼今後とも「毎日が幸せと思える・一人一人が大切にされる学校」を推進してまいりますのでよろしくお願い致します。

3年生への感謝を込めて

▼28日(水)、1・2年生が3年生への感謝の気持ちを伝える「3年生ありがとうの会」が行われました。▼会では村松大悟新生徒会長に誘導された3年生が大きな拍手で迎えられ始めました。そして、系列ごとに作成した3年生へのプレゼントが渡されました。▼その後、1・2年生がステージ上に並び、3年生への感謝を述べた後、用意したメッセージ付きの紙飛行機が3年生に向け放たれました。また、生徒会執行部の新旧引継ぎが行われ、それぞれ感謝とこれからの決意が述べられました。▼そして最後に3年生から1・2年生に、オリジナル曲に添えてメッセージが送られました。卒業式を前に、双方の気持ちのこもった感動的な会でした。



災害への備えを!

▼先日、信号待ちをしていて、ふと電柱を見ると「想定浸水深6.4m」という表記が目飛び込みました。市川三郷町では、平成31年に洪水ハザードマップが更新され、洪水時に想定される最大浸水深を知らせる看板が町内10カ所の電柱に設置してあるそうです。▼ご承知の通り、日本は災害大国です。今年元日に発生した「能登半島地震」では、最大震度7の揺れにより、建物の倒壊、大規模火災、津波等により多くの人命が奪われ、2ヶ月が経った今でも、断水や避難所での生活など余儀なくされています。▼また、国内観測史上最大規模の地震と津波によって1万5千人余りの方が犠牲になった東日本大震災から、もうすぐ13年を迎えようとしています。▼この地域も、近い将来「南海トラフ地震」が発生すると言われています。日頃から、家具の固定、非常持ち出し品・備蓄品の準備、避難経路の確認、家族との連絡方法の確認などの防災対策を家族で話し合っておくことをお勧めします。学校でも引き続き防災教育に力を入れて行こうと思います。

